

# 堂本

2025

10.7

火 | TUE

↓  
11.24

月・休 | MON

自在なる創造



没後50年



主催：京都国立近代美術館  
特別協力：京都府立堂本印象美術館

## 京都国立近代美術館

[岡崎公園内] The National Museum of Modern Art, Kyoto

上：《本華開耶媛》(部分) 昭和4年(1929) 京都府立堂本印象美術館 下：《郊外》昭和43年(1968) 京都府立堂本印象美術館

Master of Modern Kyoto Nihonga Painting

Dojima Insho

# 印象がたどった 創造の軌跡

堂本印象は、生涯にわたって京都を拠点に活躍し、昭和36年(1961)に文化勲章を受章、昭和48年(1973)に京都市名誉市民として表彰されるなど、近代日本画壇において輝かしい功績を残した日本画家です。

大正8年(1919)、第1回帝国美術院美術展覧会に初出品した《深草》で初入選するという華々しい画壇デビューを飾ります。第3回展では《調鞠図》で特選、第6回展では《華嚴》で帝国美術院賞を受賞し、画壇での地位を確立しました。印象のもとには数多くの制作依頼が舞い込み、京都市立絵画専門学校で教鞭を執るなど多忙な日々を過ごしながらも展覧会への出品はほぼ欠かすことなく、画道に邁進しました。繊細なタッチで具象的な絵画を描いていた印象ですが、戦後には画風をがらりと変え、対象をデフォルメして描いた《ガラス》や幾何学的な構成の《無礙》を経て、《風神》や《交響》のようなアンフォルメル様式の抽象画を完成させました。

《調鞠図》大正10年(1921) 永青文庫 第3回帝展出品作(特選)



《交響》昭和36年(1961) 京都府立堂本印象美術館 第4回新日展出品作



《善導大師》昭和50年(1975) 京都府立堂本印象美術館 第32回東丘社展出品作 絶筆



《果の集積(堂本美術館柱図案)》昭和41年(1966) 京都府立堂本印象美術



《風神》昭和36年(1961) 京都府立堂本印象美術館 トリノ個展出品作

## アンフォルメルと 出会い、 広がる創作活動

## 細密な具象画から躍動感のある抽象画へ



《華嚴》大正14年(1925) 東大寺 第6回帝展出品作(帝国美術院賞)



《阿梨圣母》大正11年(1922) 京都国立近代美術館 第4回帝展出品作

《大原談義》昭和6年(1931) 浄土宗総本山 知恩院 第12回帝展出品作



《ガラス》昭和26年(1951) 福島地方裁判所 第7回日展出品作

印象は随筆集において「一つの様式が完成すればすぐにそれを打破し、いつまでもそこに安住せずに、気前よくそれを打ち捨てて次の段階を目指して進まなければならない」と述べており、60歳を過ぎてなお変貌を遂げていく画風は、制作に真摯に向き合い続けた結果と言えます。

没後50年の節目に開催する本展は、政府主催の展覧会に出品した作品など代表作を中心に創造の軌跡を振り返る大回顧展であり、京都画壇の巨匠として全国的に名を馳せたこの作家の全貌に迫ります。



《無礙》昭和33年(1958) 京都市美術館 第1回新日展出品作

《疑惑》昭和29年(1954) 京都府立堂本印象美術館 第10回日展出品作



## 不断の努力で頭角を現す

## 堂本印象 (1891-1975)

京都で酒造業を営む堂本伍兵衛と芳子の三男として生まれる。名は三之助、号は印象のほか「いの字」とも名乗った。幼少期から絵を好んでその才能を発揮。小学校卒業後は京都市立美術工芸学校に進学、大正7年(1918)には京都市立絵画専門学校に入学し、大正9年(1920)に西山翠嶂が設立した画塾「青甲社」へ入門して研鑽を積んだ。官展と呼ばれる政府主催の展覧会である帝国美術院美術展覧会(帝展)や文部省美術展覧会(新文展)、日本美術展覧会(日展)などを活躍の場とし、具象画から抽象画に至るまで卓抜したセンスと確かな画力で描いた近代日本画壇を代表する画家の一人。



会期中、一部展示替えがあります

〔前期〕10月7日(火)～11月3日(月・祝) 〔後期〕11月5日(水)～11月24日(月・休)

**開館時間** 午前10時～午後6時(金曜日は午後8時まで)※入館は閉館の30分前まで

**休館日** 月曜日(ただし、10月13日[月・祝]、11月3日[月・祝]、11月24日[月・休]は開館)、10月14日(火)、11月4日(火)

### 観覧料

一般 1,500(1,300)円、大学生 700(600)円

※( )内は前売と20名以上の団体および夜間割引料金(金曜日午後6時以降)。 ※高校生以下・18歳未満、心身に障がいのある方とその付添者1名、ひとり親家庭の世帯員の方は無料(入館の際に学生証、年齢の確認ができるもの、障害者手帳等をご提示ください)。 ※本料金でコレクション展もご覧いただけます。

前売券は、8月6日(水)から10月6日(月)までオンラインチケット販売ページ(e-tix)よりお買い求めください。

### 関連イベント

〔講演会〕

「近代日本画壇の巨匠・堂本印象の創造に迫る」

講師：平井啓修(当館主任研究員)

日時：10月18日(土) 午後2時～午後3時30分

会場：京都国立近代美術館 1階講堂(当日11時より1階受付にて整理券を配布します。整理券はひとり1枚のみお渡しします)

参加費：無料

「堂本印象の多彩な表現力―芸術家としての人生とともに―」

講師：松尾敦子(京都府立堂本印象美術館主任学芸員)

日時：11月1日(土) 午後2時～午後3時30分

会場：京都国立近代美術館 1階講堂(当日11時より1階受付にて整理券を配布します。整理券はひとり1枚のみお渡しします)

参加費：無料

〔もまっくファミリーアワー〕

小さなお子さん連れのご家族や小学生、中学生のみなさん、美術館でしゃべりながら過ごしてみませんか。

小さなお子さん連れの方も周囲に気兼ねせず、のびのび鑑賞いただけます。どなたでも参加可能(申込不要)。

日時：11月2日(日) 午前9時～10時(開館前の特別入場)

ファミリーアワー(9時～10時)の時間帯に入館された場合、中学生以下のお子様をお連れの方は団体料金でご覧いただけます。

〔ワークショップ〕

「抽象画のみかた・かきかた 色であらわす印象」

日時：11月2日(日)

講師：中尾博恵氏(日本画家)

そのほかインスタLIVEによるギャラリートークなどを企画中！  
イベントの詳細は当館HPをご覧ください。

# 京都国立近代美術館

The National Museum of Modern Art, Kyoto

〔岡崎公園内〕〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町

お問合せ：075-761-4111(代表) ホームページ：<https://www.momak.go.jp/>



〔交通案内〕

●京都市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ、「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車徒歩約5分、「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約10分

●地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩約10分

※当館には駐車場がありません。近隣の有料駐車施設をご利用ください。※岡崎公園駐車場をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台につき1回)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください。

